指導事例シート② 　　　　　受講者番号（　　　　　　　）　（氏　名：　　　　　　　　　　　）

**バイジーの情報**：今回提出のスーパービジョン実践事例について（あなたとバイジーのかかわり）

|  |  |
| --- | --- |
| **スーパービジョンのきっかけ** |  |
| **性別・年齢・ケアマネ経験年数** | （　　　　歳代）　　　　**経験年数**　　　　　年 |
| **ポジショニング** | ☐包括　　☐居宅　　☐施設　　☐その他（　　　　） |
| **基礎資格と経歴** |  |
| **バイジーの強み・弱み** | 強み  弱み |
| **これまで担当してきた事例の特性や、対応の傾向** |  |
| **所属する事業所のケアマネ人数**  **（うち、主任ケアマネの有無）** | 介護支援専門員　　　　名  （うち、主任介護支援専門員　　名） |
| **バイザーから見たバイジーとの関係及び日頃の関係性** | ・勤務内  ・勤務外 |
| **特定事業所加算の取得** | （　　　　　　　　　　） |
| **主な研修受講歴（直近１年）** | **研修受講状況（受講した回数および研修名）**  **・地域**　　　　　　　　回  **・事業所の圏内**　　　　回  **・事業所の圏外**　　　　回  **・学会等その他**　　　　回 |

指導事例シート② 　　　　　受講者番号（　　　　　　　）　（氏　名：　　　　　　　　　　　）

**例**

**バイジーの情報**：今回提出のスーパービジョン実践事例について（あなたとバイジーのかかわり）

|  |  |
| --- | --- |
| **スーパービジョンのきっかけ** | 職場の上司・部下の関係。  がん末期の利用者を担当するのは３人目となるが、がん末期で一人暮らしの利用者の担当は初めてであるため不安に感じている。  総合病院から在宅医へ移行することになっており、医師と面談してきたが、家で看取るのは難しいのではないかと言われ、自分は何から援助すればいいのか分からなくなってしまったとの相談を受ける。 |
| **性別・年齢・ケアマネ経験年数** | 女性　　50歳代　　経験年数　　３　年 |
| **ポジショニング** | ☐包括　　☒居宅　　☐施設　　☐その他（　　　　） |
| **基礎資格と経歴** | 介護福祉士　（グループホーム３年、認知症型通所介護７　年） |
| **バイジーの強み・弱み** | 強み：認知症対応型通所介護で７年の勤務経験があり、認知症の利用者や家族の話を傾聴することができる。  弱み：医療との連携を深める研修会や、多職種との事例検討会などへ参加した経験がなく、医療関係者との連携に苦手意識がある。 |
| **これまで担当してきた事例の特性や、対応の傾向** | ・医療依存度の低い利用者　・認知症の利用者　　・一人暮らしの高齢者  バイザーや多職種に相談せずに支援方針を一人で決める傾向がある。 |
| **所属する事業所のケアマネ人数**  **（うち、主任ケアマネの有無）** | 介護支援専門員　　４　名  （うち、主任介護支援専門員　２　名） |
| **バイザーから見たバイジーとの関係及び日頃の関係性** | バイジーはバイザーより年上なので、アドバイスしにくい。また、バイジーはアドバイスをすると、自信をなくして落ち込むことがある。業務中の会話はバイザーが医療職であり、バイジーは自分の苦手な医療分野の話は遠慮気味である。日常会話は普通で、人間関係は良い。 |
| **特定事業所加算の取得** | （Ⅱ） |
| **研修受講歴（直近１年）** | **研修受講状況（受講した回数および研修名）**  **・地域**　　　　　　６回  　・認知症の基礎的な理解  　・相談援助の理論と実際  　・滋賀県介護支援専門員新任者研修  　・課題整理総括表の活用方法を学ぶ研修  　・○○県介護支援専門員地域同行型実地研修（２回）  **・事業所の圏内**　　１　回  　・介護サービスにおける医療と介護の連携  **・事業所の圏外**　　０　回  **・学会等その他**　　２　回  　・日本介護支援専門員協会近畿ブロック研究大会in○○ |